

# 北見武道通信

令和6年11月7日 00716号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

[satou.toshiharu@navy.plala.or.jp](mailto:satou.toshiharu@navy.plala.or.jp)



**ニュースレター【事務局情報】オホーツク支部高校弓道1年生大会開催!**10月26日(土)オホーツク支部高校弓道部(北見北斗・柏陽・緑陵・商業・工業、美幌、網走南ヶ丘・桂陽、遠軽、津別、斜里、清里、紋別、大空、留辺蘂、その他混成チーム)が北見市武道館弓道場に集まり弓道大会を実施されました。競技は個人の部(個人戦男女)と団体の部(団体戦

男女)で、新人戦の試合方式で行われ熱戦が繰り広げられました。〈佐藤〉 **蟬水難事件!**

ある夏の暑い日の事です。自宅の庭の水桶に蟬が顔を埋めて水面に浮かんでいました。すぐに救い上げ掌の上のせ見ていると、蟬の足が少し動きだし生きていることがわかりました。しばらくそのまま様子を見ていますと、今度は動きが早くなり掌から肘、肩に向かって歩きだしました。蟬に触れるのは子供のころ以来で最初は少し戸惑いましたが、すぐに慣れ、手におしっこをかけられても可愛さすら感じてきました。自然に帰そうと何度となくベランダのウッドデッキにおいておきましたが、地面に落ちて仰向けで動こうとしません。仕方なく我家で休ませたあと胸ポケットに入れて公園のある職場に連れて行きますと、ポケットからはい出てき



ましたので、ハルニレの木に留まらせてみると、ゆっくりと木の上に登って行き、その後も地面に落ちている様子もなく、やっと自然に帰すことができました。**蟬難聴事件?!**それから数カ月が経過した秋晴れの日の事です。中学時代の同期会に出席するため北見峠に向かい車を走らせていると、山々がすっかり紅葉していることに気づきました。赤や黄色、緑などの美しい景色と温かい日差しにつつまれて感



慨にひたっていましたら、どこからか蟬の声が聞こえてきました。「まさかこの時期に?!」と、耳をすますと、わたしの耳鳴りでした。それでも「耳鳴り、補聴器、病院通い」などの話題が多くなった同期会では「実は俺も」と「蟬の声」を話したところ、大うけ笑いの楽しい思い出話に花を咲かせることが出来ました。〈佐藤〉 **事務所の花シリーズ**

**「ルビーネックレス」**多肉植物のルビーネックレスが始めて花を咲かせました。 **連載中国「老子」**

**思想五十八章 禍福は楯の両面である** 施策の跡を意識させぬほど自然の政治なら、そのもとにある人民はつねに心安らかである。重箱の隅をつつくような政治なら、そのもとにある人民はつねに戦々恐々としている。そもそも、禍はつねに福が寄り添い、福はつねに禍がひそむものだ。禍福は隣りも見きわめがつかぬ。両者を区別する規準はどこにもないのだ。正は邪となり、善は悪となる。人はこの対立転化の道理を忘れ、迷妄に陥ってから、すでに久しい。聖人は、相対的な価値を絶対視しない。方正であって、方正をてらわない。清廉であって、清廉をてらわない。実直であって、実直をてらわない。明知であって、明知をてらわない。

原文: 其政悶悶、其民醇醇。其政察察、其民缺缺。禍兮福之所倚、福兮禍之所伏。孰知其極。其無正。正復爲奇、善復爲詭。人之迷、其日固久。是以聖人方而不割、廉而不劌、直而不肆、光而不曜。五十九章に続く